

HSBC ブラジル債券 オープン（毎月決算型）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2008年9月30日～2023年9月25日	
運 用 方 針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	年12回の決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第121期	（決算日	2018年10月25日）
第122期	（決算日	2018年11月26日）
第123期	（決算日	2018年12月25日）
第124期	（決算日	2019年 1月25日）
第125期	（決算日	2019年 2月25日）
第126期	（決算日	2019年 3月25日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）」は、2019年3月25日に第126期の決算を行いましたので、第121期～第126期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 ≪お問い合わせ先（クライアントサービス本部）≫
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp



◎最近5作成期の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	期 中 騰 落 率			債券組入率 比	債券先物率 比	純 資 産 額 総
			税 分	込 配	み 金			
第17作成期		円	円	%	%	%	百万円	
	第 97期 (2016年10月25日)	4,932	35	10.0	96.1	—	35,745	
	第 98期 (2016年11月25日)	4,847	35	△ 1.0	96.2	—	36,027	
	第 99期 (2016年12月26日)	5,251	35	9.1	96.7	—	38,988	
	第100期 (2017年 1月25日)	5,372	35	3.0	99.4	—	39,810	
	第101期 (2017年 2月27日)	5,487	35	2.8	98.5	—	41,039	
第18作成期	第102期 (2017年 3月27日)	5,441	35	△ 0.2	98.7	—	40,528	
	第103期 (2017年 4月25日)	5,378	35	△ 0.5	98.0	—	39,869	
	第104期 (2017年 5月25日)	5,110	35	△ 4.3	96.6	—	38,170	
	第105期 (2017年 6月26日)	5,052	35	△ 0.5	94.8	—	38,643	
	第106期 (2017年 7月25日)	5,458	35	8.7	99.0	—	42,289	
	第107期 (2017年 8月25日)	5,404	35	△ 0.3	98.1	—	41,987	
第19作成期	第108期 (2017年 9月25日)	5,658	35	5.3	97.3	—	43,797	
	第109期 (2017年10月25日)	5,485	35	△ 2.4	97.5	—	41,656	
	第110期 (2017年11月27日)	5,348	35	△ 1.9	97.7	—	40,423	
	第111期 (2017年12月25日)	5,248	35	△ 1.2	96.8	—	39,223	
	第112期 (2018年 1月25日)	5,437	35	4.3	99.0	—	39,907	
	第113期 (2018年 2月26日)	5,170	35	△ 4.3	99.3	—	36,928	
第20作成期	第114期 (2018年 3月26日)	4,998	35	△ 2.6	98.1	—	34,991	
	第115期 (2018年 4月25日)	4,931	35	△ 0.6	97.9	—	34,135	
	第116期 (2018年 5月25日)	4,615	35	△ 5.7	97.2	—	31,334	
	第117期 (2018年 6月25日)	4,315	35	△ 5.7	96.4	—	28,881	
	第118期 (2018年 7月25日)	4,505	35	5.2	99.3	—	29,900	
	第119期 (2018年 8月27日)	4,027	35	△ 9.8	98.6	—	26,852	
第21作成期	第120期 (2018年 9月25日)	4,115	30	2.9	97.6	—	27,287	
	第121期 (2018年10月25日)	4,620	30	13.0	97.2	—	30,244	
	第122期 (2018年11月26日)	4,602	30	0.3	97.2	—	29,068	
	第123期 (2018年12月25日)	4,432	30	△ 3.0	96.7	—	27,719	
	第124期 (2019年 1月25日)	4,596	30	4.4	98.7	—	28,370	
	第125期 (2019年 2月25日)	4,686	30	2.6	98.6	—	28,230	
	第126期 (2019年 3月25日)	4,437	30	△ 4.7	98.2	—	26,066	

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入率 比	債券先物率 比
			騰 落 率		
第121期	(期 首) 2018年 9月25日	円 4,115	% —	% 97.6	% —
	9月末	4,241	3.1	97.4	—
	(期 末) 2018年10月25日	4,650	13.0	97.2	—
第122期	(期 首) 2018年10月25日	4,620	—	97.2	—
	10月末	4,755	2.9	97.0	—
	(期 末) 2018年11月26日	4,632	0.3	97.2	—
第123期	(期 首) 2018年11月26日	4,602	—	97.2	—
	11月末	4,580	△ 0.5	97.0	—
	(期 末) 2018年12月25日	4,462	△ 3.0	96.7	—
第124期	(期 首) 2018年12月25日	4,432	—	96.7	—
	12月末	4,499	1.5	96.2	—
	(期 末) 2019年 1月25日	4,626	4.4	98.7	—
第125期	(期 首) 2019年 1月25日	4,596	—	98.7	—
	1月末	4,682	1.9	98.9	—
	(期 末) 2019年 2月25日	4,716	2.6	98.6	—
第126期	(期 首) 2019年 2月25日	4,686	—	98.6	—
	2月末	4,708	0.5	98.4	—
	(期 末) 2019年 3月25日	4,467	△ 4.7	98.2	—

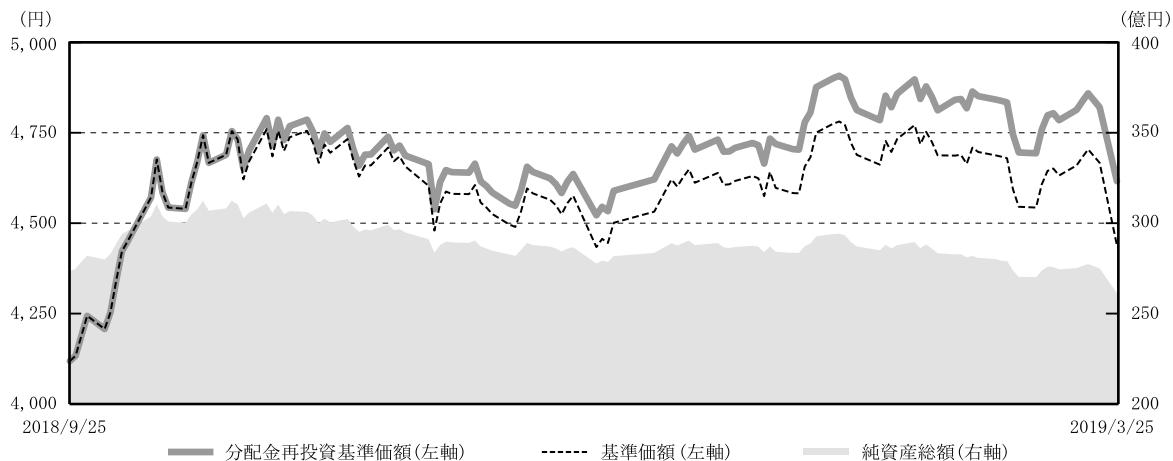
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当作成期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第121期～第126期：2018年9月26日～2019年3月25日）



【基準価額・騰落率】

第121期首：4,115円

第126期末：4,437円（既払分配金（税込み）：180円）

騰落率：+12.2%（分配金再投資ベース）

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、それぞれのお客様の損益の状況を示すものではありません。

・ 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年9月25日）の値を基準価額と同一になるように指数化しております。

2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回り低下）、組入銘柄の利子収入、ブラジルレアルの対円での上昇がプラスに寄与しました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、作成期を通じて上昇（利回りは低下）基調となりました。2018年10月の大統領選挙で市場寄りのボルソナロ氏が選出され、構造改革の進展に対する期待感が高まりました。また、インフレ率（拡大消費者物価指数：IPCA）が10月の前年同月比+4.6%をピークに低下に転じたことも、債券市場にはプラス要因となりました（2019年2月のIPCAは前年同月比+3.9%）。ブラジル中央銀行は、作成期を通じて、政策金利を過去最低の6.5%に据え置きました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、作成期初から10月末にかけては、大統領選挙後の改革期待などから上昇しました。11月から12月末までは新興国通貨全般に対する投資センチメントの悪化などから下落しました。2019年に入ると、ボルソナロ新政権の構造改革に向けた動き（2月20日には社会保障制度改革法案を議会に提出）などを背景に、上昇傾向となりました。作成期を通じて見ると、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

4. ポートフォリオについて

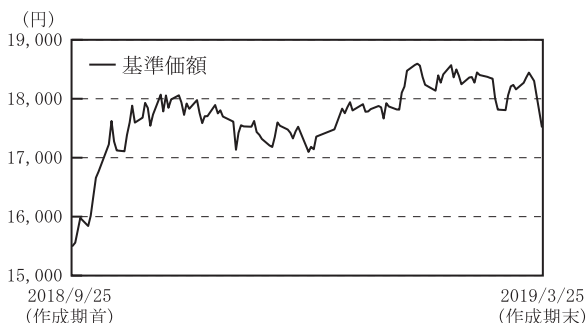
<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

<ブラジル債券マザーファンド>

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～29%程度、固定利付債は68～76%程度、物価連動国債を3%程度としました。

基準価額（マザーファンド）の推移



5. ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

6. 分配金について

第121期から第126期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも30円（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

7. 今後の運用方針

ブラジル経済は、インフレ率を目標レンジ（2019年は4.25%±1.5%）内に抑えながら、景気は回復を続けています。また、2019年1月に市場寄りのボルソナロ新政権が発足し、政治の不透明感は大きく後退しました。ブラジルの債券市場を取り巻く環境は良好と見られます。

新政権は、構造改革に積極的に取り組んでいます。2月には社会保障制度改革法案を議会に提出しました。今後、憲法司法委員会、特別委員会での審議・承認を経た後、下院および上院でそれぞれ2回の採決（6割以上の賛成が必要）が行われる予定となっています。当面は議会審議および採決の行方が注目されます。

<HSBC ブラジル債券オープン（毎月決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<ブラジル債券マザーファンド>

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

◎1万口当たりの費用明細

項目	作成期間(第121期～第126期)		項目の概要
	2018/9/26～2019/3/25		
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬	円 38	% 0.830	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(20)	(0.428)	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(17)	(0.375)	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内での ファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.083	(b) その他費用＝作成期中のその他費用／作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.075)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.005)	振替制度にかかる費用、印刷業者に支払う法定書類にかかる費用等
合計	42	0.913	
作成期中の平均基準価額は、4,577円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等にかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、「(b)その他費用」は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

◎親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年9月26日から2019年3月25日まで）

決 算 期	第 121 期 ～ 第 126 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ブラジル債券マザーファンド	612,027	1,054,534	3,369,458	5,953,444

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2018年9月26日から2019年3月25日まで）

親投資信託における当作成期中の利害関係人との取引状況

区 分	第 121 期 ～ 第 126 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		B A			D C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	4,607	—	—	9,512	686	7.2

平均保有割合99.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

（注）単位未満は切捨て。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

親投資信託残高

2019年3月25日現在

種 類	第20作成期末		第 21 作 成 期 末	
	口 数		口 数	
	千口		千口	
ブラジル債券マザーファンド	17,753,557		14,996,126	
			26,280,711	

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

<補足情報>

当ファンドが組入対象とする「ブラジル債券マザーファンド」の決算日は当ファンドの決算日と異なります。
当ファンドの決算日現在におけるマザーファンド全体（15, 118, 373千口）の組入資産の内容を以下に記載します。

外国（外貨建）公社債（2019年3月25日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	第 21 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 894, 550	千ブラジルレアル 917, 570	千円 25, 811, 270	% 97. 4	% 97. 4	% 23. 5	% 35. 7	% 38. 2
合 計	894, 550	917, 570	25, 811, 270	97. 4	97. 4	23. 5	35. 7	38. 2

- (注) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。
(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	第 21 作 成 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2022		—	100, 000	81, 089	2, 281, 049	2022/1/ 1
LTN 07/01/2020		—	89, 500	82, 403	2, 318, 017	2020/7/ 1
LTN 07/01/2021		—	33, 000	27, 992	787, 439	2021/7/ 1
NTN-B 6% 08/15/2022	国 債 証 券	6. 0	8, 000	27, 410	771, 065	2022/8/15
NTN-F 10% 01/01/2021		10. 0	265, 000	277, 029	7, 792, 844	2021/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2023		10. 0	189, 500	200, 109	5, 629, 087	2023/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2025		10. 0	154, 550	163, 449	4, 597, 832	2025/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2027		10. 0	44, 000	46, 446	1, 306, 550	2027/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2029		10. 0	11, 000	11, 638	327, 383	2029/1/ 1
合 計	—	—	—	—	25, 811, 270	—

- (注) 邦貨換算金額は、作成期末現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。
(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2019年3月25日現在

項 目	第 21 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ブラジル債券マザーファンド	26,280,711	99.6
コール・ローン等、その他	112,964	0.4
投資信託財産総額	26,393,675	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（26,315,826千円）の投資信託財産総額（26,607,711千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル＝109.91円、1ブラジルレアル＝28.13円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月25日) (2018年11月26日) (2018年12月25日) (2019年1月25日) (2019年2月25日) (2019年3月25日)

項 目	第 121 期 末	第 122 期 末	第 123 期 末	第 124 期 末	第 125 期 末	第 126 期 末
(A) 資 産	30,618,728,044円	29,390,010,534円	28,059,101,930円	28,743,390,562円	28,619,300,640円	26,393,675,930円
ブラジル債券マザーファンド(評価額)	30,481,748,500	29,302,949,810	27,946,724,220	28,597,733,157	28,454,062,903	26,280,711,356
未 収 入 金	136,979,544	87,060,724	112,377,710	145,657,405	165,237,737	112,964,574
(B) 負 債	374,605,480	321,710,783	339,576,868	373,256,520	389,240,792	326,939,761
未 払 収 益 分 配 金	196,375,909	189,483,786	187,625,724	185,190,921	180,731,252	176,248,969
未 払 解 約 金	136,979,544	87,060,724	112,377,710	145,657,405	165,237,737	112,964,574
未 払 信 託 報 酬	40,763,026	44,151,782	38,103,712	40,455,146	40,830,940	35,457,190
その他未払費用	487,001	1,014,491	1,469,722	1,953,048	2,440,863	2,269,028
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	30,244,122,564	29,068,299,751	27,719,525,062	28,370,134,042	28,230,059,848	26,066,736,169
元 本	65,458,636,637	63,161,262,203	62,541,908,132	61,730,307,135	60,243,750,729	58,749,656,353
次 期 繰 越 損 益 金	△35,214,514,073	△34,092,962,452	△34,822,383,070	△33,360,173,093	△32,013,690,881	△32,682,920,184
(D) 受 益 権 総 口 数	65,458,636,637口	63,161,262,203口	62,541,908,132口	61,730,307,135口	60,243,750,729口	58,749,656,353口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,620円	4,602円	4,432円	4,596円	4,686円	4,437円

<注記事項（当運用報告書作成時点では、監査未了です。）>

(注) 当ファンドの第121期首元本額は66,306,714,853円、第121～126期中追加設定元本額は2,341,289,270円、第121～126期中一部解約元本額は9,898,347,770円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

◎損益の状況

	自2018年 9月26日 至2018年10月25日	自2018年10月26日 至2018年11月26日	自2018年11月27日 至2018年12月25日	自2018年12月26日 至2019年 1月25日	自2019年1月26日 至2019年2月25日	自2019年2月26日 至2019年3月25日
項 目	第 121 期	第 122 期	第 123 期	第 124 期	第 125 期	第 126 期
(A) 有価証券売買損益	3,523,564,785円	117,206,596円	△ 835,881,624円	1,234,479,935円	762,673,448円	△ 1,253,047,688円
売 買 益	3,593,516,687	135,558,175	6,308,801	1,248,494,650	781,518,363	5,926,057
売 買 損	△ 69,951,902	△ 18,351,579	△ 842,190,425	△ 14,014,715	△ 18,844,915	△ 1,258,973,745
(B) 信託報酬等	△ 41,250,027	△ 44,679,272	△ 38,558,943	△ 40,938,472	△ 41,318,755	△ 35,285,355
(C) 当期損益金(A+B)	3,482,314,758	72,527,324	△ 874,440,567	1,193,541,463	721,354,693	△ 1,288,333,043
(D) 前期繰越損益金	△10,816,160,053	△ 7,238,378,229	△ 7,216,792,317	△ 8,142,727,847	△ 6,936,252,459	△ 6,205,821,893
(E) 追加信託差損益金	△27,684,292,869	△26,737,627,761	△26,543,524,462	△26,225,795,788	△25,618,061,863	△25,012,516,279
(配当等相当額)	(696,323,417)	(675,528,539)	(673,818,648)	(667,871,718)	(653,703,986)	(640,057,642)
(売買損益相当額)	(△28,380,616,286)	(△27,413,156,300)	(△27,217,343,110)	(△26,893,667,506)	(△26,271,765,849)	(△25,652,573,921)
(F) 計 (C+D+E)	△35,018,138,164	△33,903,478,666	△34,634,757,346	△33,174,982,172	△31,832,959,629	△32,506,671,215
(G) 収益分配金	△ 196,375,909	△ 189,483,786	△ 187,625,724	△ 185,190,921	△ 180,731,252	△ 176,248,969
次期繰越損益金(F+G)	△35,214,514,073	△34,092,962,452	△34,822,383,070	△33,360,173,093	△32,013,690,881	△32,682,920,184
追加信託差損益金	△27,684,292,869	△26,737,627,761	△26,543,524,462	△26,225,795,788	△25,618,061,863	△25,012,516,279
(配当等相当額)	(698,215,676)	(675,917,927)	(675,012,654)	(668,153,979)	(654,122,092)	(640,594,834)
(売買損益相当額)	(△28,382,508,545)	(△27,413,545,688)	(△27,218,537,116)	(△26,893,949,767)	(△26,272,183,955)	(△25,653,111,113)
分配準備積立金	530,891,233	512,481,064	475,548,796	462,838,960	475,787,274	435,725,643
繰越損益金	△ 8,061,112,437	△ 7,867,815,755	△ 8,754,407,404	△ 7,597,216,265	△ 6,871,416,292	△ 8,106,129,548

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第121期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (226,608,318円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (698,215,676円) および分配準備積立金 (500,658,824円) より分配対象収益は 1,425,482,818円 (10,000口当たり217円) であり、うち196,375,909円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 第122期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (189,716,450円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (675,917,927円) および分配準備積立金 (512,248,400円) より分配対象収益は 1,377,882,777円 (10,000口当たり218円) であり、うち189,483,786円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 第123期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (158,731,883円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (675,012,654円) および分配準備積立金 (504,442,637円) より分配対象収益は 1,338,187,174円 (10,000口当たり213円) であり、うち187,625,724円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 第124期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (179,741,619円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (668,153,979円) および分配準備積立金 (468,288,262円) より分配対象収益は 1,316,183,860円 (10,000口当たり213円) であり、うち185,190,921円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 第125期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (205,407,390円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (654,122,092円) および分配準備積立金 (451,111,136円) より分配対象収益は 1,310,640,618円 (10,000口当たり217円) であり、うち180,731,252円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 第126期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (147,892,774円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (640,594,834円) および分配準備積立金 (464,081,838円) より分配対象収益は 1,252,569,446円 (10,000口当たり213円) であり、うち176,248,969円 (10,000口当たり30円) を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、35,806,673円です。

◎分配金のお知らせ

	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
1万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

◎分配原資の内訳

（単位：1万口当たり・税引前）

	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
当期分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円
（対基準価額比率）	0.645%	0.648%	0.672%	0.649%	0.636%	0.672%
当期の収益	30円	30円	25円	29円	30円	25円
当期の収益以外	—	—	4円	0円	—	4円
翌期繰越分配対象額	187円	188円	183円	183円	187円	183円

◇「（対基準価額比率）」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率です。この値はファンドの収益率を表すものではない点にご留意ください。

◇「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況
第10期（2017年9月20日～2018年9月18日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組 入 制 限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	%	%	%	百万円
第 6 期（2014年9月18日）	15,861	16.1	96.5	—	56,930
第 7 期（2015年9月18日）	10,935	△31.1	95.5	—	33,740
第 8 期（2016年9月20日）	13,831	26.5	97.5	—	34,475
第 9 期（2017年9月19日）	18,856	36.3	97.7	—	43,688
第10期（2018年9月18日）	15,044	△20.2	96.4	—	27,009

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期中の基準価額等の推移

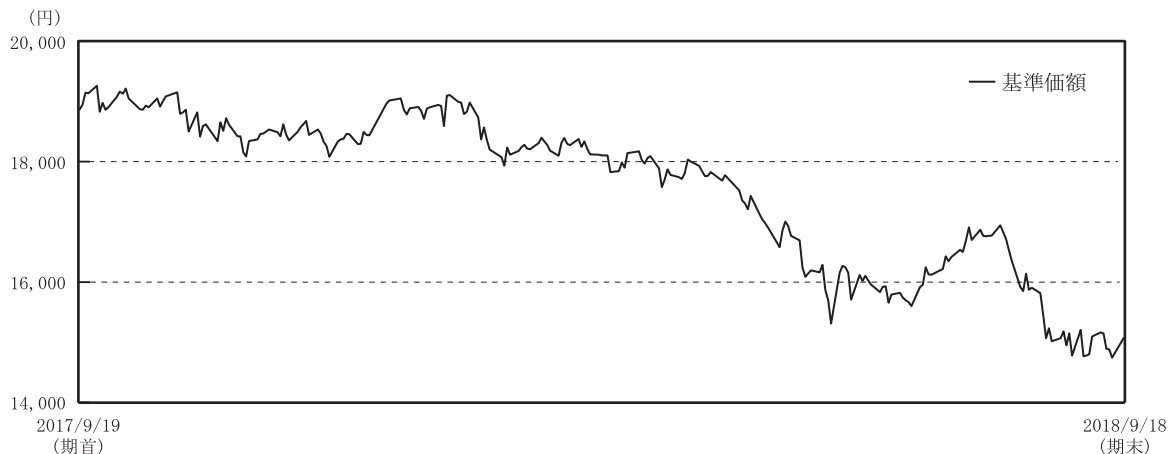
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首)	円	%	%	%
2017年 9月19日	18,856	—	97.7	—
9月末	18,887	0.2	98.1	—
10月末	18,400	△ 2.4	97.4	—
11月末	18,434	△ 2.2	97.6	—
12月末	18,424	△ 2.3	96.5	—
2018年 1月末	18,772	△ 0.4	99.0	—
2月末	18,320	△ 2.8	98.9	—
3月末	18,134	△ 3.8	98.1	—
4月末	17,806	△ 5.6	97.8	—
5月末	16,124	△14.5	97.4	—
6月末	15,771	△16.4	96.4	—
7月末	16,748	△11.2	98.9	—
8月末	14,755	△21.7	98.3	—
(期 末)				
2018年 9月18日	15,044	△20.2	96.4	—

（注）騰落率は期首比です。

（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

◎当期の運用状況と今後の運用方針

1. 基準価額等の推移について（第10期：2017年9月20日～2018年9月18日）



2. 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の利子収入がプラスに寄与しました。

<下落要因>

ブラジルレアルが対円で大幅に下落したことが、基準価額にマイナスに働きました。

3. 投資環境について

【債券市況】

ブラジル債券市場は、期初から2017年11月半ばまでは、米国の金利先高感などから下落し（利回りは上昇）、その後2018年3月までは、国内のインフレ率低下とブラジル中央銀行による連続的な利下げを受けて上昇（利回りは低下）しました。2018年4月以降は、レアル安や大統領選挙を巡る不透明感などをを受けて下落（利回りは上昇）しました。

【為替相場】

ブラジルレアルは対円で、当期を通じて下落基調となりました。対米ドルでも2018年2月以降は下落しており、対円で下落が加速しました。レアルの下落要因としては、ブラジル中央銀行による連続的な利下げ、2018年10月の大統領選挙を巡る不透明感、米国金利高を背景とした新興国からの資金流出懸念が挙げられます。

4. ポートフォリオについて

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を29～41％程度、固定利付債は56～68％程度、物価連動国債を2～3％程度としました。

5. 今後の運用方針

ブラジル中央銀行は8月の通貨政策委員会で、政策金利を過去最低の6.50％に据え置きました。据え置きは3会合連続となります。今後については、景気が回復基調を続ける中で食品およびエネルギーを除くコア・インフレ率が上昇した場合には、2018年末までに小幅な金融引き締めが行われる可能性があると考えています。

当社は、2019年1月に発足する新政権の政策を注視していきます。

通貨レアルについては、今後は底堅い動きを見込んでいます。貿易・経常収支の改善や潤沢な外貨準備高などが相場を下支えすると見えています。

世界でも利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高めに維持しています。

◎1万口当たりの費用明細（2017年9月20日から2018年9月18日まで）

項 目	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	29円	0.163％
（保 管 費 用）	(29)	(0.163)
（そ の 他）	(0)	(0.000)
合 計	29	0.163

- ・ 期中のマザーファンドの平均基準価額は17,547円です。
- ・ 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しております。なお、費用項目の概要については、6ページをご参照ください。

◎当期中の売買及び取引の状況（2017年9月20日から2018年9月18日まで）

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ブラジル	国 債 証 券	千ブラジルレアル 73,646	千ブラジルレアル 303,258

（注）金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注）単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況（2017年9月20日から2018年9月18日まで）

当期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為 替 直 物 取 引	百万円 9,112	百万円 －	% －	百万円 18,235	百万円 3,306	% 18.1

（注）単位未満は切捨て。

* 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

◎組入資産の明細

外国（外貨建）公社債（2018年9月18日現在）

(A) 債券種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 1,012,150	千ブラジルレアル 963,296	千円 26,047,550	% 96.4	% 96.4	% 19.6	% 50.9	% 26.0
合 計	1,012,150	963,296	26,047,550	96.4	96.4	19.6	50.9	26.0

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）単位未満は切捨て。

（注）評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

（注）BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB＋、BB、BB－を指します。

(B) 個別銘柄開示

銘 柄 名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ブラジル)	国 債 証 券	%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
LTN 01/01/2020		—	132,200	119,103	3,220,563	2020/1/ 1
LTN 07/01/2019		—	26,000	24,560	664,102	2019/7/ 1
LTN 07/01/2020		—	135,500	116,044	3,137,843	2020/7/ 1
LTN 07/01/2021		—	33,000	25,196	681,310	2021/7/ 1
NTN-B 6% 08/15/2022		6.0	8,000	25,489	689,229	2022/8/15
NTN-F 10% 01/01/2021		10.0	274,000	275,657	7,453,767	2021/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2023		10.0	189,500	181,885	4,918,182	2023/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2025		10.0	158,950	146,472	3,960,603	2025/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2027		10.0	44,000	39,250	1,061,340	2027/1/ 1
NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	11,000	9,637	260,608	2029/1/ 1	
合 計	—	—	—	—	26,047,550	—

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注）額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

（注）評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

◎投資信託財産の構成

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	26,047,550	96.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,051,646	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	27,099,196	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。
(注) 期末における外貨建純資産 (27,006,854千円) の投資信託財産総額 (27,099,196千円) に対する比率は99.7%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは
1米ドル=111.83円、1ブラジルレアル=27.04円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,099,196,658円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	656,400,501
公 社 債 (評価額)	26,047,550,806
未 収 利 息	395,245,351
(B) 負 債	89,891,023
未 払 解 約 金	89,890,753
未 払 利 息	270
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	27,009,305,635
元 本	17,954,038,029
次 期 繰 越 損 益 金	9,055,267,606
(D) 受 益 権 総 口 数	17,954,038,029口
1万口当たり基準価額 (C／D)	15,044円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額 (元本の欠損) となります。

《注記事項》

※期首元本額 23,169,298,236円
期中追加設定元本額 2,919,210,410円
期中一部解約元本額 8,134,470,617円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
HSBC ブラジル債券オープン (1年決算型) 132,255,974円
HSBC ブラジル債券オープン (毎月決算型) 17,821,782,055円

◎損益の状況

自2017年9月20日
至2018年9月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,841,543,858円
受 取 利 息	2,841,670,863
支 払 利 息	△127,005
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,120,526,078
売 買 益	44,901,185
売 買 損	△10,165,427,263
(C) 信 託 報 酬 等	△57,773,731
(D) 当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	△7,336,755,951
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	20,519,565,810
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,250,627,653
(G) 解 約 差 損 益 金	△6,378,169,906
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	9,055,267,606
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	9,055,267,606

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C) 信託報酬等の主なものは、保管費用等です。
(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

◆お知らせ◆

＜約款変更のお知らせ＞ ありません。
＜その他のお知らせ＞ ありません。